

あらかわくrippu

Vol.13

梅雨のヒマつぶし号

傘もよろこぶ使いかた

みなさま、いかがお過ごしでしょうか？

雨が續くとジメジメが心の中にまで入ってきて、湿気で心が1.5倍ぐらい重く感じます…

…そんな梅雨の時期ですが、

お気に入りの傘なんかがあれば、出かける時に少し楽しい気分になれるかなと思ってます。

そこで、梅雨を彩る傘の優しい使い方を紹介します。



1. 水きり

傘を使い終わった後は、濡れた傘の水をきりますね。傘をたたんで床にトントン、左右に回して水を飛ばす…実はこれ傘に良くないのです。傘は左右に回すような横の動き、衝撃に弱く、壊れる原因になってしまいます。デリケートな子ですね。



優しい水きり

傘を少し開いて、少し閉じてをくりかえして水きりをします。開いたり閉じたりは、なるべくゆっくりするのがポイントです。



2. 傘をたたむ

水もきったので、傘を手のひらを使ってくるくると巻いて…これもよくないらしいのです。手のひらの油は、傘の生地を使用されている撥水加工を損ねてしまうというのです。



優しい傘のたたみ方

生地の折り目をつまむようにして1枚づつ袖に巻きつけるように整え、生地をなるべく手で触れないようにたたみます。最後にベルトで止める時も、なるべく生地に手が触れないようにします。



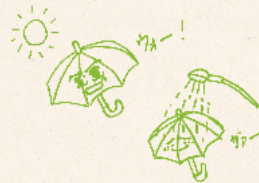
3. 使用後とアフターケア

○濡れたままにしておくと、鉄の部分が錆びたりカビの原因になります。

→ 使用後は傘を開いた状態で乾かします。

○傘はほこりや泥などで、意外と汚れてます。中性洗剤で優しく洗い、シャワーで流してあげます。ある程度乾いたらドライヤーで乾かします。すると、ドライヤーの熱でフッ素効果がよみがえり、撥水効果が出会ったあの頃に近づきます。

→ たまに洗ってあげましょう。



これで傘もよろこびます。優しく大事に使えば、より永く付き合えますね。
あ…、弊社ではノベルティグッズとしてオリジナルの傘も作れます。知っておいて頂ければと…

印刷の不思議（製本の不思議シリーズ①）

梅雨の休日は、家であらかわくりっぷを読みましょう。

あっ…平日の昼休みでもいいですよ。

さて、今回からの印刷の不思議は“製本の不思議シリーズ”と題しまして、数回に分けて“製本の不思議”を探っていきます。

梅雨のヒマつぶしに
読んでください



そもそも製本ってなんですか？

製本とは、印刷した紙を接着剤・針金・糸・リング等で綴じて、表紙をつけて本の形にすることです！

本がいわゆる冊子の形態になったのは意外と古く、2世紀以降にキリスト教の発展とともに聖書が冊子として流布されていったことから、西洋全体に広まっていきました。日本では和綴り製本が有名ですが、洋式製本が伝わったのは、徳川幕府の頃とか。製本は現代でも目覚ましい進化を遂げています。



現在、製本様式は、表紙のつけ方と本文の背の綴じ方によって、大きく「並製本」と「上製本」に分類されます。



並製本

表紙と中身を同時に製本するので、スピーディーに製本ができます。商業印刷で使用される冊子はほとんどがこの並製本です。



- 見た目の特徴
表紙が薄く、表紙と中身に段差がありません。
- 使用例
雑誌、パンフレットなど



ふむふむ
製本方法によって
出来映えがちがうだね

上製本

表紙と中身を別々に製本する方法で、中身を糸かがりします。強度が高く、長期の保存に耐えられます。



- 見た目の特徴
表紙が厚く、表紙と中身に段差があります。
- 使用例
美術書、辞書、絵本、写真集など

並製本は「綴じ方」によっても分類されるのですが…今回はこれまで！
次回の印刷の不思議は「綴じ方」について調査しましょう！！

オススメ商品

みなさん、梅雨の季節いかがお過ごしでしょうか。
さて、今回のあらかわくりっぷより、
弊社のオススメ商品を紹介する、連載企画がスタートしました！
今回紹介する商品は…

箔押し名入れの御朱印帳です！

御朱印帳ってなんですか？

御朱印帳とは、神社仏閣で頂ける御朱印を押印するための専用の帳面のことです。

御朱印は元々、参拝者が写経をして寺に納めた際に、信仰の証として頂けるものですが、現在では参拝の証として頂けることも多いようです。

※神社仏閣でも御朱印をもらえないところもあります。



柄は全5種類

箔押しで名入れをして、お客様のオリジナルの御朱印帳を作りませんか？

弊社の御朱印帳は、友禅和紙を使った既製品に、お客様オリジナルの箔押しをして提供しております。

おすすめポイント

1. 高級感溢れる箔押し加工でオリジナル
2. 伝統的な和柄を華麗に染め上げた友禅和紙を使用！
3. 小ロットで製作できます！
(大・中2サイズ取り合わせ50冊から承ります。)

サイズ：大 182×121mm 中 160×109mm

仕 様：民芸和紙、手漉紙2枚重ね

片面23面（折り本式24折）PP袋入



中身は
じゃばら折りです。



大



中

上記の破線内に箔押し加工で名入れができます。
箔押しサイズ 100×50mm以内

あらかわ柳人による

ア・ラ川柳

第7回

雨の音

気持ちと髪が
跳ね上がる

水無月を

食べると気づく
あと半年

雨宿り

となりのネコと
見つめあう

おぼえてる？

プレミアムな
フライデー



荒川印刷株式会社

- 本社 〒602-8036 京都府京都市上京区榎本町通堀川東入西山崎町229-1
TEL 075-231-0889 FAX 075-211-5883
- 東京営業所 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2丁目44-6 A202
TEL/FAX 03-3378-1088 担当者携帯 090-8147-3620

Website : <http://www.a-pri.co.jp> Facebook : <http://www.facebook.com/apri.co.jp/>

